



北海道遺産

Hokkaido Heritage

[北海道遺産とは]

次の世代に引き継ぎたい北海道の大切な宝物です。豊かな自然はもちろん、北海道に生きてきた人々の歴史や文化、生活、産業など有形・無形の財産の中から、道民参加によって選ばれました。

平成13年10月に第1回選定分25件が、平成16年10月に第2回選定分27件が決まり、52件の北海道遺産が誕生しています。

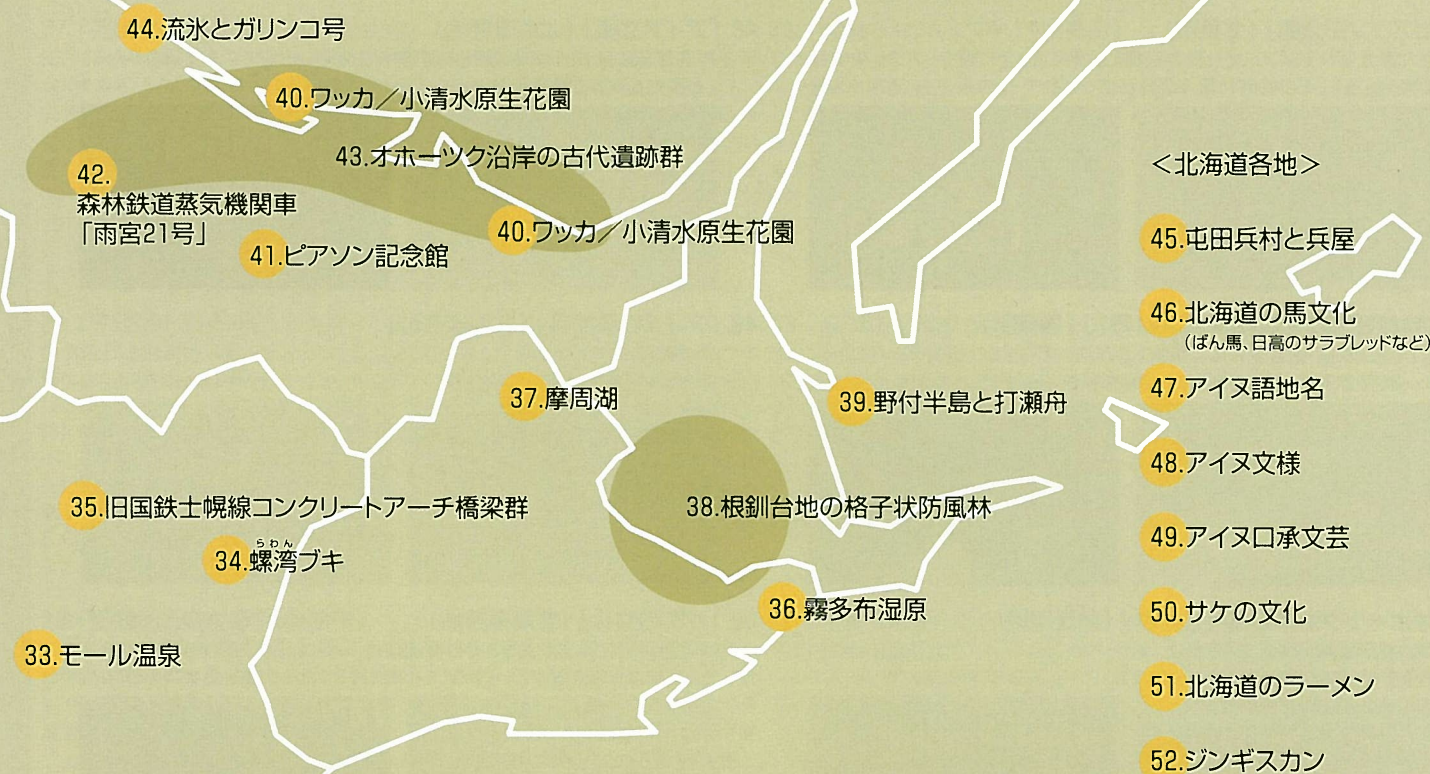
[北海道遺産構想とは]

まちの宝物を探し、それを守り、磨き、活用する過程で、まちの元気や魅力の種を育み、新しい魅力をもった北海道を創造していく運動です。

北海道遺産の多くには、北海道遺産に深く関わりながら活動する「担い手」の市民が存在し、官主導ではない構想の象徴となっています。

すでに、北海道遺産が所在するまちでは様々な活動が展開されるとともに、企業によるツアーや北海道遺産関連の商品開発も進み、この構想は着実に歩み始めています。

北海道遺産の分布(全52件)



<北海道各地>

- 45. 屯田兵村と兵屋
- 46. 北海道の馬文化
(ばん馬、日高のサラブレッドなど)
- 47. アイヌ語地名
- 48. アイヌ文様
- 49. アイヌ口承文芸
- 50. サケの文化
- 51. 北海道のラーメン
- 52. ジンギスカン

北海道に生まれた物語、北海道が伝えるメッセージ

一つひとつの北海道遺産には、北の大地に生きた先人たちの物語がつまっています。その物語は、ここに生きるわたしたち道民、北海道を愛するすべての人、そして将来、北海道を創造していく次の世代に対して、忘れてはいけないメッセージを伝えています。私たち一人ひとりが、足元にある宝物に気づき、誇りに思い、大切に、活用することで新しい魅力をつくっていく——それこそが北海道遺産構想が目指すものです。

今後、北海道遺産だけでなく、「ほっかいどうムラの宝物さがしプロジェクト」などによっても、それぞれのまちから、物語性の豊かな魅力の種が生まれ、育まれていくことでしょう。種の大きさはそれぞれです。大きければよいとか、小さいからだめというものではありません。一つひとつは小さくても、たくさんの元気や魅力が集まれば、新しい魅力を持った「大きな北海道」をつくっていくことが可能なのではないでしょうか。

いつか、まちを離れていった子どもたちが自慢できる「ふるさとづくり」。まちを愛し、楽しむ「地域人づくり」。地域の歴史や文化を発信していく「物語づくり」。活用することで経済につなげられる「資産づくり」。次の世代へ遺し、引き継ぐ「まちづくり」。

今を生きる私たちがつくる物語のプロローグを書き始めてみませんか。そして、未来の北海道人たちへ大切なメッセージを遺してみませんか。